

米国バンクローンファンド ＜為替ヘッジあり＞（毎月分配型）

愛称：US ストリーム

追加型投信／海外／その他資産（バンクローン）

作成対象期間：2018年10月12日～2019年4月11日

第 59 期 決算日：2018年11月12日 第 62 期 決算日：2019年2月12日

第 60 期 決算日：2018年12月11日 第 63 期 決算日：2019年3月11日

第 61 期 決算日：2019年1月11日 第 64 期 決算日：2019年4月11日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは、主として円建ての外国投資信託への投資を通じて、米ドル建てバンクローン、公社債等を高位に組み入れます。実質的な組入外貨建て資産については、投資を行う外国投資信託において米ドル売り、円買いの為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。ここに運用状況をご報告申し上げます。
当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第64期末（2019年4月11日）	
基準価額	7,963円
純資産総額	2,779百万円
第59期～第64期	
騰落率	-0.5%
分配金合計 ^(*)	150円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufug.jp/>

[ファンド検索] に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

MUFG 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufug.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル  **0120-151034**

（受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

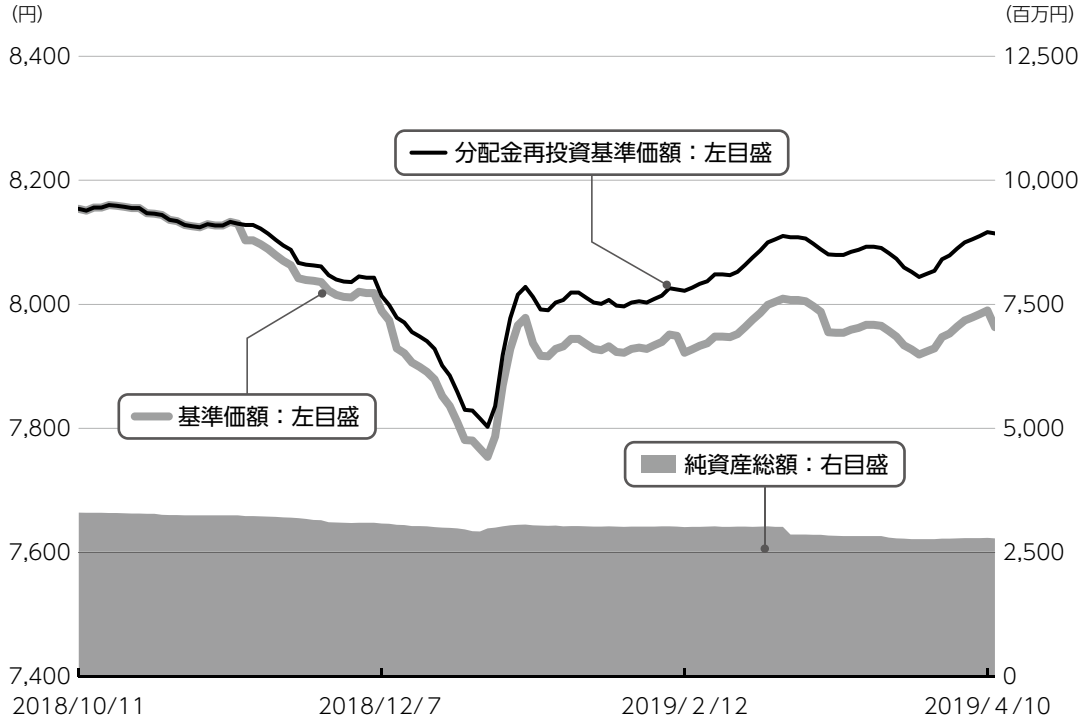
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

第59期～第64期：2018年10月12日～2019年4月11日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第 59 期 首	8,154円
第 64 期 末	7,963円
既払分配金	150円
騰 落 率	-0.5%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ0.5% (分配金再投資ベース) の下落となりました。

> 基準価額の主な変動要因

上昇要因

米国バンクローン (貸付債権) の利子収入を享受したこと。

下落要因

為替ヘッジによるコスト (金利差相当分の費用)
信託報酬

2018年10月12日～2019年4月11日

1 万口当たりの費用明細

項目	第59期～第64期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	71	0.890	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(44)	(0.550)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(26)	(0.323)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.002	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	71	0.892	

作成期中の平均基準価額は、7,986円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

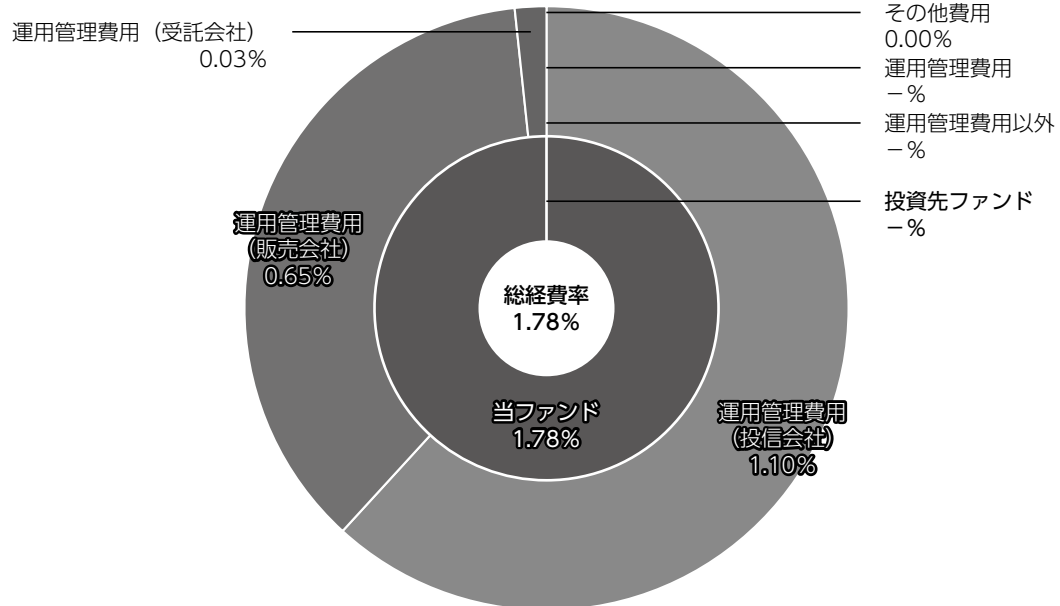
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.78%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	1.78
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.78
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	-
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	-

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

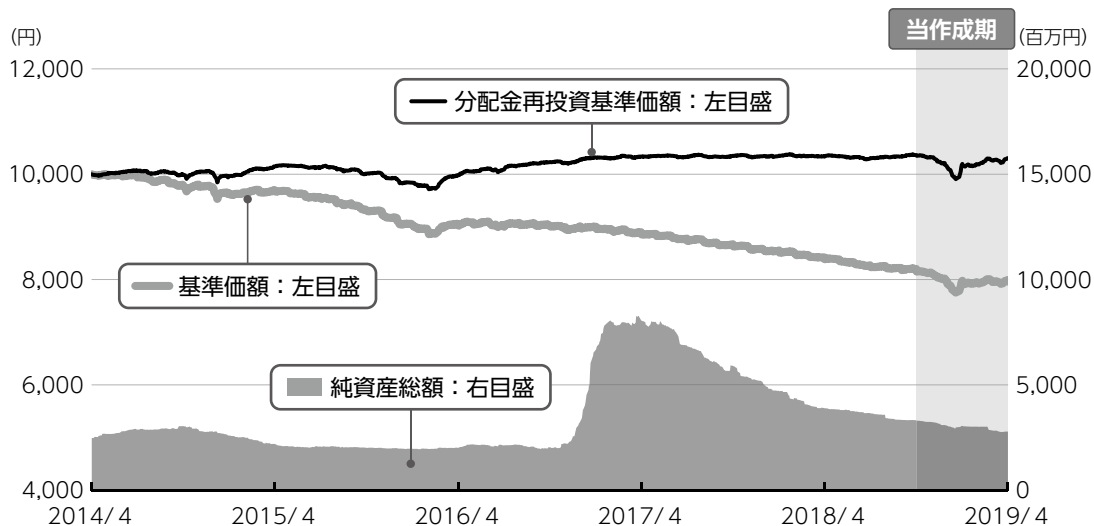
(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2014年4月11日～2019年4月11日

最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額は、2014年4月11日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

	2014/4/11 期初	2015/4/13 決算日	2016/4/11 決算日	2017/4/11 決算日	2018/4/11 決算日	2019/4/11 決算日
基準価額 (円)	9,997	9,668	9,025	8,858	8,387	7,963
期間分配金合計 (税込み) (円)	-	480	480	480	480	390
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	1.6	-1.7	3.5	0.1	-0.4
純資産総額 (百万円)	2,482	2,183	2,012	8,041	3,886	2,779

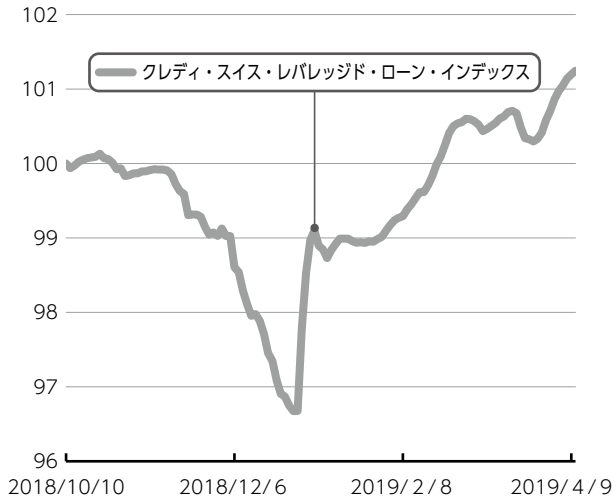
※ファンド年間騰落率は、収益分配金 (税込み) を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

第59期～第64期：2018年10月12日～2019年4月11日

▶ 投資環境について

バンクローン市況の推移 (当作成期首を100として指数化)



▶ バンクローン市況

当作成期首から2018年12月下旬にかけては、米中貿易摩擦に対する懸念や、米国において発表された各種経済指標が軟調となったこと、米国経済に減速の前兆が見られる中において金融政策については漸進的な引き締めの方針が維持されたこと等がマイナス要因となり、米国バンクローン市況は下落しました。

12月下旬から当作成期末にかけては、米国の金融政策について一転して引き締めの方針が後退したことや、米中通商協議について進展がみられたこと等を受けて、米国経済の減速に対する市場の懸念は後退し、米国バンクローン市況は上昇しました。

当作成期を通じてみると、米国バンクローン市況は上昇しました。

(注) 現地日付ベースで記載しております。

(注) クレディ・スイス・レバレッジド・ローン・インデックスはクレディ・スイス証券が算出する、バンクローンの値動きを示す代表的なインデックスです。

▶ 国内短期金融市場

当作成期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、2019年4月11日のコール・レートは-0.063%となりました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (毎月分配型)

当ファンドは、主として円建ての外国投資信託であるピムコ バミューダ バンクローン ファンド A - クラス Y (JPY) の投資信託証券への投資を通じて、米ドル建てバンクローン、公社債等を高位に組み入れました。また、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。当作成期は、米国バンクローンの利子収入を享受したこと等がプラスとなったものの、為替ヘッジによるコストや信託報酬等がマイナスとなり、基準価額(分配金再投資ベース)は下落しました。

▶ ピムコ バミューダ バンクローン ファンド A - クラス Y (JPY)

基準価額は当作成期首に比べ0.4%(分配金再投資ベース)の上昇となりました。保有外貨建て資産に対し、米ドル売り、円買いの為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図る運用を行いました。為替ヘッジを行ったため、円・米ドル為替市況の変動が基準価額に与える影響は限定的となりました。

セクター配分戦略

景気サイクルの後期において安定的なキャッシュフローが見込まれる食品セク

ターに重点的に投資を行う一方、企業間の競争が激化している小売セクターについては投資比率を抑えました。食品セクターに重点的に投資を行ったことは、当セクターが上昇したことから基準価額へのプラス要因となりました。一方で、小売セクターは上昇したものの、投資比率を抑えたことから、基準価額への寄与は限定的となりました。

当ファンドが実質的に投資しているピムコ パミュダ バンクローン ファンド (M) の運用状況をピムコ社の資料 (現地月末営業日基準) に基づき作成したものです。

(ご参考)

種別組入比率

2019年3月末

種別	比率
バンクローン	83.3%
社債等	10.9%
短期金融資産等	5.8%

※比率は純資産総額に対する割合です。

※その他債券などバンクローン以外の組み入れがある場合、社債等に含まれます。

※短期金融資産等には、ピムコ社が現金同等資産と判断した債券等が含まれます。

(ご参考)

組入上位10業種

2019年3月末

	業種	比率
1	テクノロジー・ハードウェア・機器	16.4%
2	消費者サービス	13.3%
3	素材	11.4%
4	ヘルスケア機器サービス	10.9%
5	メディア	7.0%
6	各種金融	5.8%
7	電気通信サービス	5.0%
8	耐久消費財・アパレル	4.7%
9	医薬品・バイオテクノロジー	3.8%
10	食品・飲料	3.5%

※比率は、組入バンクローン等の評価額に対する割合です。

※業種はピムコ社の分類によります。

(ご参考)

格付分布

2019年3月末

格付種類	比率
A格以上	0.0%
B B B格	13.1%
B B格	38.7%
B格	47.3%
C C C格以下	0.9%

- ・格付は、S & P、Moody'sのうち最も高い格付を表示しています。
- ・上記2社の格付を取得していない場合は、Fitchまたはピムコ社による独自の格付を表示します。
- ・なお、付加記号（+、-等）を省略して集計し、S & Pの格付記号に基づき表示しています。

▶ マネー・マーケット・マザーファンド

基準価額は当作成期首に比べ横ばいとなりました。

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。その結

果、利子等収益は積み上がったものの、運用資金に対するマイナス金利適用などの影響を受けて、基準価額は横ばいとなりました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第59期 2018年10月12日~ 2018年11月12日	第60期 2018年11月13日~ 2018年12月11日	第61期 2018年12月12日~ 2019年1月11日	第62期 2019年1月12日~ 2019年2月12日	第63期 2019年2月13日~ 2019年3月11日	第64期 2019年3月12日~ 2019年4月11日
当期分配金 (対基準価額比率)	25 (0.308%)	25 (0.314%)	25 (0.314%)	25 (0.315%)	25 (0.313%)	25 (0.313%)
当期の収益	25	25	25	25	25	25
当期の収益以外	-	-	-	-	-	-
翌期繰越分配対象額	96	100	107	109	117	119

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶ 米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (毎月分配型)

今後の運用方針

運用の基本方針にしたがって、引き続き円建て外国投資信託への投資を通じて米ドル建てバンクローン、公社債等を高位に組み入れた運用を行うほか、一部、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券の組み入れを維持し、毎月の分配をめざしていく方針です。

▶ ピムコ バミューダ バンクローン ファンド A - クラス Y (JPY)

運用環境の見通し

米国経済は、過去数年実施されてきた金融緩和縮小の影響が当面は継続すると見られること、財政政策の効果が徐々に剥落すること、中国をはじめとする各国の経済成長鈍化などを背景に2018年以前と比較すると経済成長は鈍化すると引き続き想定しています。一方、米連邦準備制度理事会 (F R B) が市場に配慮し利上げに慎重な姿勢を示したことは市場の下支え要因になると見えています。

今後の運用方針

変動利付きであるバンクローンは固定利付きの社債と比較して金利変動による影響を受け難いという特性があるため、金利リスクを抑えつつ相対的に高いインカム収入を獲得したいと考える投資家からの需要が見込まれることが同市場のサポート材料になると考えます。また、多くのバンクローンには担保が設定されデフォルト (債務不履行) 時の弁済順位が高いことから、デフォルト時にはハイイールド債券と比較して回収率が相対的に高くなることも期待されます。なお、バンクローン市場のデフォルト率は低水準で推移しており、当面も急激な上昇に直面する可能性は低いと見込まれます。こうした環境下、長期的なファンダメンタルズに着目した慎重な銘柄選択および損失の軽減が最も重要であると考えていることから、強固な資本構成を有し、高い参入障壁や堅実な成長性によって事業基盤が安定している比較的信用力の高い銘柄を中心に投資を行う方針です。

なお、保有外貨建て資産に対し、原則として、米ドル売り、円買いの為替ヘッジを行います。

▶ マネー・マーケット・マザーファンド

運用環境の見通し

物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

今後の運用方針

コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

▶ その他

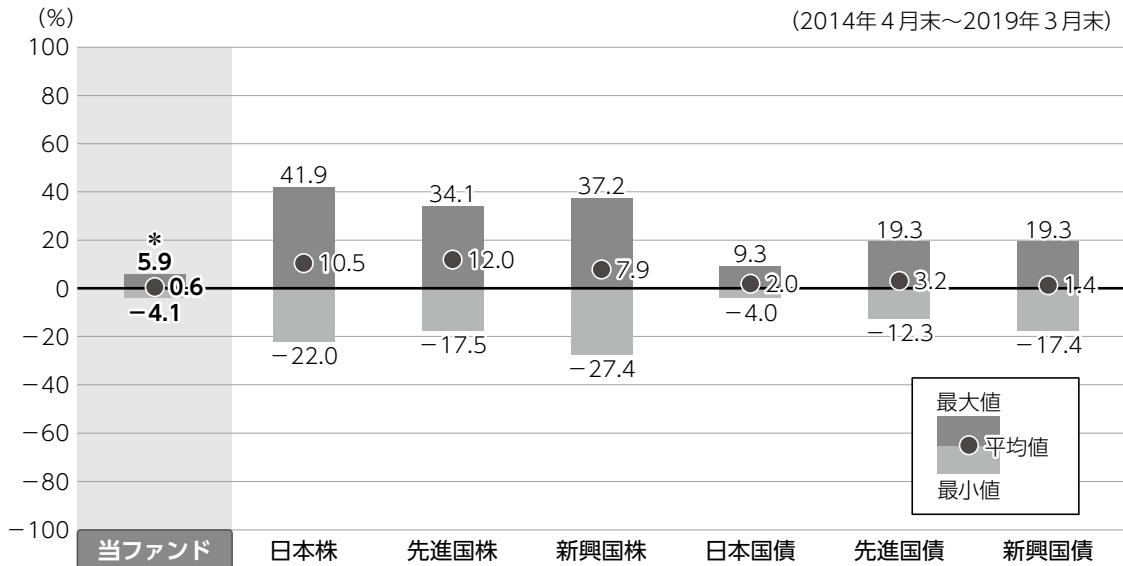
- ・2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／その他資産（バンクローン）
信託期間	2028年10月11日まで（2013年12月9日設定）
運用方針	主として円建ての外国投資信託であるピムコ バミューダ バンクローン ファンド A – クラス Y（JPY）の投資信託証券への投資を通じて、米ドル建てのバンクローン（貸付債権）、公社債等を実質的な投資を行い、利子収益の確保および値上がり利益の獲得をめざします。なお、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。実質的な組入外貨建資産については、原則として投資する外国投資信託において為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。投資信託証券への運用の指図に関する権限は、ピムコジャパンリミテッドに委託します。
主要投資対象	<p>■当ファンド</p> <p>ピムコ バミューダ バンクローン ファンド A – クラス Y（JPY）およびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。</p> <p>■ピムコ バミューダ バンクローン ファンド A – クラス Y（JPY）</p> <p>ピムコ バミューダ バンクローン ファンド（M）への投資を通じて、米ドル建てのバンクローン、債券およびそれらの派生商品等を主要投資対象とします。</p> <p>■マネー・マーケット・マザーファンド</p> <p>わが国の公社債等を主要投資対象とします。外貨建資産への投資は行いません。</p>
運用方法	米ドル建てのバンクローン（貸付債権）、公社債等を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり利益の獲得をめざします。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2014年4月から2019年3月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

*ファンドについては2014年12月～2019年3月の同様の騰落率を表示したものです。

各資産クラスの指数

日本株	TOPIX (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2019年4月11日現在

▶ 当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

ファンド名	第64期末 2019年4月11日
ピムコ パミュダ バンクローン ファンド A - クラス Y (JPY)	99.4%
マネー・マーケット・マザーファンド	0.1%

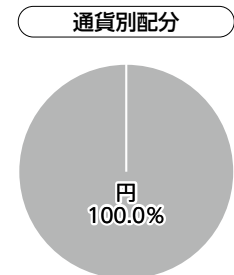
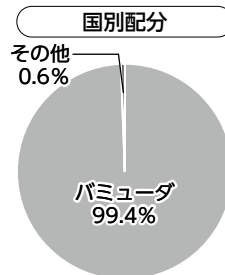
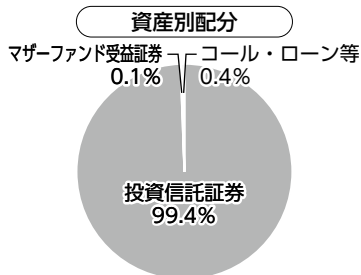
※比率は当ファンドの純資産総額に対する各投資信託証券の評価額の割合です。

純資産等

項目	第59期末 2018年11月12日	第60期末 2018年12月11日	第61期末 2019年1月11日	第62期末 2019年2月12日	第63期末 2019年3月11日	第64期末 2019年4月11日
純資産総額 (円)	3,229,342,998	3,056,660,527	3,042,530,462	3,010,081,076	2,839,296,083	2,779,919,606
受益権口数 (口)	3,985,317,748	3,854,850,133	3,833,178,016	3,799,711,749	3,569,270,659	3,490,834,164
1万口当たり基準価額 (円)	8,103	7,929	7,937	7,922	7,955	7,963

※当作成期間中(第59期～第64期)において追加設定元本は112,732,878円
同解約元本は 669,301,114円です。

種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等(国内外)を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

※【国別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行国、発行通貨を表示しています。

2018年10月31日現在

組入上位ファンドの概要

▶ ピムコ バミューダ バンクローン ファンド A – クラス Y (JPY)

基準価額の推移

2017年10月31日～2018年10月31日



基準価額以外の開示情報につきましては、各通貨毎のクラス分けされたものがないため、「ピムコ バミューダ バンクローン ファンド (M)」ベースで表示しています。

▶ ピムコ バミューダ バンクローン ファンド (M)

組入上位10銘柄

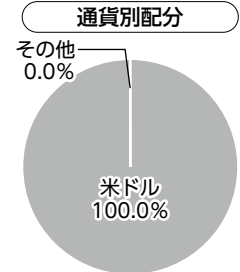
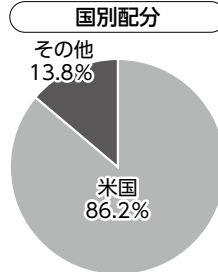
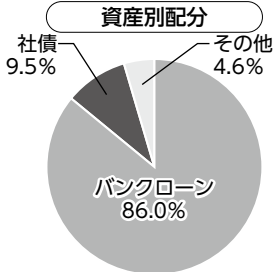
(組入銘柄数：468銘柄)

	銘柄	種類	業種/種別	比率(%)
1	FINANCIAL & RISK US HOLD TL B	バンクローン	テクノロジー・ハードウェア・機器	1.2
2	ENVISION HEALTHCARE TL	バンクローン	ヘルスケア機器サービス	1.0
3	AKZO NOBEL US TL B	バンクローン	素材	1.0
4	BAUSCH HEALTH COS INC TL B	バンクローン	医薬品・バイオテクノロジー	1.0
5	SPRINT COMMUNICATIONS TL B	バンクローン	電気通信サービス	0.9
6	NUMERICABLE-SFR SA TL B11	バンクローン	メディア	0.9
7	PLY GEM HOLDINGS TL B	バンクローン	素材	0.9
8	DAVITA INC TL B	バンクローン	ヘルスケア機器サービス	0.9
9	INTELSAT JACKSON HLDG B3	バンクローン	電気通信サービス	0.8
10	CPG INTERNATIONAL INC TL	バンクローン	素材	0.8

※比率はマスターファンドの純資産総額に対する割合です。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)をご覧ください。

種別構成等



(注) 比率はマスターファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※ピムコ バリューストック バンクローン ファンド A - クラス Y (J P Y) において、保有資産に対し米ドル売り円買いの為替ヘッジを行っており、実質的な通貨別比率は円99.9%です。

1万口当たりの費用明細

2017年11月1日～2018年10月31日

※1万口当たりの費用明細に相当する情報がないため、開示はできません。

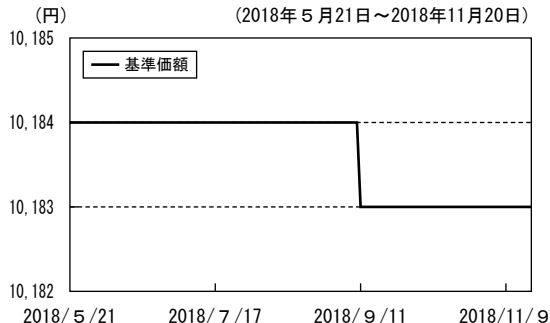
※ファンドが投資対象とする投資信託証券では運用管理費用(信託報酬)はありません。

組入上位ファンドの概要

マネー・マーケット・マザーファンド

(2018年11月20日現在)

基準価額の推移



組入上位10銘柄

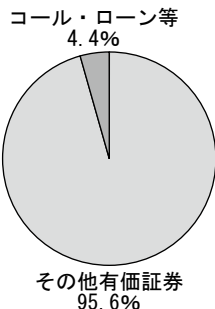
(組入銘柄数：2銘柄)

	銘柄	種類	国	業種/種別	比率
1	アプラスフィナンシャル 181121	其他有価証券	日本	コマースナル・ペーパー	53.1%
2	T & D リース 181121	其他有価証券	日本	コマースナル・ペーパー	42.5%
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

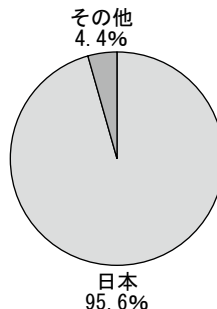
- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・なお、其他有価証券以外の全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

種別構成等

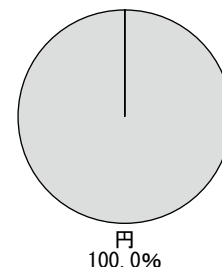
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「其他」に分類しています。
- ・国別配分の「其他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等(国内外)を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用	0円	0.000%
(その他)	(0)	(0.000)
合計	0	0.000

期中の平均基準価額は、10,183円です。

(2018年5月22日～2018年11月20日)

- (注) 1万口当たりの費用明細は、組入れファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要については、3ページの注記をご参照ください。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

968469

指数に関して

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

● TOPIX (配当込み)

TOPIX (配当込み) とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数 (TOPIX) に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX (配当込み) に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX (配当込み) の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX (配当込み) の算出もしくは公表の停止またはTOPIX (配当込み) の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

● MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)

MSCI コクサイ・インデックス (配当込み) とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

● MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み) とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

● NOMURA-BPI (国債)

NOMURA-BPI (国債) とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI (総合) のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

● FTSE世界国債インデックス (除く日本)

FTSE世界国債インデックス (除く日本) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

● J PモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

J PモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信